

町会報

えひめ

2013

8

Vol.53

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



松前町「秋祭り」

松前町では毎年10月13日から15日まで、農作物の収穫を祝い、五穀豊穡を祈って秋祭りが開催されます。この3日間、各地区で地域色豊かに「みこし」、「獅子舞」や「高張り」の神事が行われ、町内は祭り一色に染まります。



Contents

四国四県町村会・議長会合同事務局長会議	2
町村監査委員協議会研修会	2
随想 清水雅文愛南町長	3
愛媛県市町総合事務組合だより	4
四国地区町村議会議長会会長会	5

町からのお知らせ	6
一筆	7
8月の行事	7
編集後記	7
オータムジャンボ宝くじのお知らせ	8

四国四県町村長・議長大会に向けて 四国四県町村会・議長会事務局長会議

8 / 7 徳島市で開催

四国四県町村会・議長会事務局長会議が、8月7日徳島市の「ホテル千秋閣」で開催され、各県事務局長や担当者が出席。「四国四県町村長・議長大会」の開催要綱等を別掲のとおり決定した。

首長と議会は二元代表制の仕組みにあることから、これまで町村会と議長会の要望事項には若干の差異があった。しかし、それぞれの目的は町村行政の進展と住民福祉の向上であり、例えば町村財政の充実強化や

地方分権の進展、さらに道路網の整備促進など、ほとんどが共通している。

こうしたことから、四国57の町村長と議長が一堂に会して、立場を超えて共闘しよう。そして、四国の魅力を内外に広く発信・アピールしようとする狙いのもとに、一昨年からこうしたかたちで開催されているもの。

なお、大会は9月24日(火)午後2時から高知市の「ザ クラウンパレス 新阪急高知」で開催される。

平成25年度四国四県町村長・議長大会開催要綱

- | | |
|---------|---|
| 1 名 称 | 四国四県町村長・議長大会 |
| 2 目 的 | 四国の57の町村長・議長が一堂に会し、議会と執行部の立場を超えて「元気溢れる地域をつくる」との強い信念のもと、町村の抱える重要課題について研修・意見交換・審議し、その実現のためお互いに連携を密にしながら、総力を結集して行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民福祉の向上を期する。 |
| 3 主 催 | 四国四県町村会
四国四県町村議会議長会 |
| 4 日 程 | 平成25年9月24日(火)
(1) 大会 14時00分～15時25分
(2) シンポジウム ～道州制の何が問題か～
① 基調講演 15時35分～16時25分
演題：「道州制基本法案について」(仮題)
講師：東京大学名誉教授 大森 彌 氏
② パネルディスカッション 16時30分～17時45分
「道州制と地方自治の将来について」(仮題)
コーディネーター：全国町村会調査室長 坂本 誠 氏
<パネリスト：四国各県代表1名>
<アドバイザー：大森 彌 氏> |
| 5 開催場所 | (3) 意見交換会 18時00分～
ザ クラウンパレス新阪急高知
高知市本町4丁目2-50 TEL088-873-1111
大会：3階「花の間」/意見交換会：3階「蘭の間」 |
| 6 出席者 | 四国四県町村長 全員
四国四県町村議会議長 全員 |
| 7 審議事項 | ・提案議題 ・決議 |
| 8 大会次第 | (1) 開会のことば (2) 国歌斉唱 (3) あいさつ
(4) 宣言
(5) 来賓祝辞
高知県知事、高知県議会議長、全国町村会長、
全国町村議会議長会長
(6) 議長選出 (7) 議事 提案議題審議
(8) 決議 (9) 実行運動方法協議
(10) 閉会のことば |
| 9 意見交換会 | (1) 開会 (2) あいさつ (3) 乾杯 (4) 懇談
(5) 万歳三唱 (ガンパローコール) (6) 閉会 |

平成25年度研修会を開催

県町村監査委員協議会

平成25年度愛媛県町村監査委員協議会研修会が、8月19日(月)午後2時から「えひめ共済会館」で開催され、町監査委員ら29人が出席した。

研修会は、まず上甲会長(鬼北町代表監査委員)が挨拶を述べたのち、ただちに研修に入り、砥部町代表監査委員の影浦浩二氏を講師に迎え、「新地方公営企業会計の実務と監査の視点」と題して、地方公営企業会計基準の見直しの背景や監査のポイントなど約2時間半の講演を聴講し、午後4時40分、片岡副会長(内子町代表監査委員)の閉会あいさつで研修会を終えた。

なお、研修会終了後に同会館で、監査委員相互の交流を深めるための意見交換会を実施した。



講師：影浦砥部町代表監査委員

研 修 会 次 第

- | | |
|--------|--|
| 1 開 会 | 14:00 |
| 2 あいさつ | 上甲会長 |
| 3 研 修 | 14:05～16:40
「新地方公営企業会計の実務と監査の視点」
砥部町代表監査委員
影 浦 浩 二 (かげうら こうじ) 氏 |
| 4 事務連絡 | 16:40～17:00 |
| 5 閉 会 | 片岡副会長 17:00 |



随想

「TOKYO2020」

愛南町長 清水雅文



かつてない猛暑を記録した今年の夏も、9月に入り急に秋の訪れを感じるようになってまいりました。

9月7日の深夜から8日の早朝にかけて、固唾を吞んでテレビにかじりついた多くの国民の皆さんには生涯忘れることのできない「TOKYO2020」ビッグなプレゼントが夜明けとともに流れてまいりました。

勝負の最終プレゼンテーション。高田宮妃久子様の気品にあふれた流暢なフランス語、英語による東日本大震災への支援に対する感謝とお礼の言葉に始まり、実家が被災したパラリンピック代表の佐藤真海選手が絶望の淵からスポーツの力で立ち直った体験談を語り、滝川クリステルさんが日本が世界に誇れる伝統文化「お・も・て・な・し」を流暢なフランス語の合間にさりげなく入れた演出は実に圧巻でした。日本人である我々でさえも強く心を打たれるシーンであり、「これで東京決まりかな」と密かに確信を持ったものでした。

ただ、唯一の心配は、IOC委員に福島原発の汚染水問題を追及された時、安倍総理は「心配ない、汚染水は、福島原発の港湾内0.3平方キロメートル内でブロックしている。それが真実だ」と答えましたが、果たして本当でしょうか。日々流れる映像ではとても大丈夫とは思えません。福島の多くの方々が、いまだに各地で避難生活を強いられていることが大丈夫ではないことを物語っています。

未曾有の大震災で、大切な家族や友人、財産までも失った被災地の方々には、一日も早く平穏な生活に戻ってくることを願わずにはいられません。

近い将来必ず起きる南海トラフ巨大地震に対する備えが完璧にできるとはいえないまでも、今回の経験を教訓として、しっかりとした防災・減災に取り組むことが大震災で犠牲となられた方々への何よりの供養になるのではないかと思います。

2020年の東京オリンピック開催決定が、被災地復興の強い追い風となるのは間違いありません。安倍総理自ら「福島は問題ない」と世界中のマスコミの言い切ったその言葉の裏には、オリンピック以上に東北

の復興に力を入れるという強い思いが込められているものと大いに期待をしております。

2020年東京オリンピックによる直接的な経済波及効果は、約3兆円と試算されています。民間の試算では最大150兆円規模になるそう、オリンピックの成功と併せて、選手のリベルアップを大いに期待しているところであります。

特にお家芸である柔道は、1964年東京五輪以降の金メダル全106種目のうち、実に3分の1を超える36個の金メダルを獲得しています。ところが、2004年アテネ五輪で8個の金メダルを取って以降、徐々に坂道を転がるがごとく弱くなったのは、全日本柔道連盟（全柔連）や講道館の体質にあると言われております。事もあろうに、2大会連続金メダリストによる婦女暴行事

件や、日本スポーツ振興センターへの助成金返還問題に、役員によるセクハラ、そして女子代表15選手への暴力問題など、これだけ世間を賑わせているのに、いつまでも会長の椅子に座り続けようとする潔さのない女々しい姿に失望した国民の方もたくさんおられたのではないのでしょうか。

全柔連会長が交代して1週間後に開かれた世界柔道選手権では、男子60kg級の高藤直寿、66kg級海老沼匡、そして73kg級の大野将平の3選手が「これが柔道だ」というところを見せつけてくれたのには、日本柔道復活近しを強く感じたものであります。これから7年間、我々は大きな夢を見ることが出来ます。将来、アスリートとしてオリンピックを目指す青少年の皆さんの活躍を心からお祈り申し上げます。

■商工観光課から

「愛南まるゴチ秋の味覚祭」を開催します

食欲の「秋」に、今流行のご当地グルメのイベントとして「愛南まるゴチ秋の味覚祭」を開催します。「今治焼豚玉子飯」や「四万十牛コロッケ」など四国4県のB級ご当地グルメのほか、あの有名な「富士宮焼きそば」も出店します。お子さんが楽しめる「ふわふわ遊具」もありますので、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

◇日時 10月13日(日) 9:30～15:00

(小雨決行・荒天中止)

◇場所 レクザム愛南工場 敷地内

※約600台収容できる駐車場(無料)があります。

◇内容

- ・四国B級(ジビエ) ご当地グルメゾーン
- ・第3回愛なんうまいもんコンテスト
- ・なーしくん&にゃんよと一緒に!撮影会
- ・サスケチャレンジ(有料。ご利用になれるのは、小学生3年生以下です。)
- ・うり坊レース

その他、お楽しみイベント満載です。



※写真はイメージです。

お問い合わせ／商工観光課 Tel 0895-72-7315

総合事務組合だより

平成25年第2回愛媛県市町総合事務組合議会定例会は8月9日に開催され、平成24年度決算など4議案を上程し、いずれも承認又は原案のとおり可決された。決算の概要は、次のとおり。

【平成24年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算】

(歳入)		(単位：円)
款	項	金 額
1 負担金		6,774,605,941
	1 退職手当負担金	6,406,907,749
	2 消防負担金	304,255,192
	3 交通災害共済掛金	55,103,400
	4 自治会館負担金	8,050,000
	5 公務災害負担金	289,600
2 使用料		3,600,000
	1 会館使用料	3,600,000
3 消防基金等支出金		249,241,690
	1 消防基金支出金	249,241,690
	2 議員連合会支出金	0
4 財産収入		11,607,107
	1 財産運用収入	11,607,107
5 繰入金		4,550,000,000
	1 基金繰入金	4,550,000,000
6 繰越金		871,515,014
	1 繰越金	871,515,014
7 諸収入		54,681,538
	1 預金利子	2,630,971
	2 団体支出金	48,402,205
	3 雑入	3,648,362
歳 入 合 計		12,515,251,290

(歳出)		(単位：円)
款	項	金 額
1 議会費		67,394
	1 議会費	67,394
2 総務費		100,295,306
	1 総務管理費	100,285,706
	2 監査委員費	9,600
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3 事業費		6,613,778,697
	1 退職手当事業費	6,034,176,512
	2 消防事業費	535,781,761
	3 交通災害事業費	37,685,312
	4 自治会館事業費	5,929,242
	5 議員公務災害事業費	205,870
4 公債費		0
	1 公債費	0
5 諸支出金		5,054,390,000
	1 基金積立金	5,054,390,000
6 予備費		0
	1 予備費	0
歳 出 合 計		11,768,531,397

【基金積立金会計】

(単位：円)

積 立 金 種 別	金 額
退職手当基金積立金	2,911,007,000
消防賞じゅつ金等基金積立金	154,354,000
交通災害見舞金基金積立金	161,863,000
会館財政調整基金積立金	88,186,000
議員公務災害補償基金積立金	5,161,000
合 計	3,320,571,000

【翌年度繰越金内訳】

(単位：円)

積 立 金 種 別	金 額
退職手当繰越金	735,132,766
消防繰越金	4,557,612
交通災害繰越金	4,304,877
自治会館繰越金	2,194,782
公務災害繰越金	529,856
合 計	746,719,893

【平成24年度 各事業における支払の状況】

退職手当		(単位：円)	
種 別	人 数	金 額	
特別職	27	270,279,666	
一般職 (293名)	普通退職	47	483,899,414
	勸奨退職	39	996,507,438
	定年退職	198	4,188,602,684
	その他退職	9	90,284,691
合 計		320	6,029,573,893

消 防		(単位：円)	
種 別	人 数	金 額	
団員災害補償費	18	5,293,615	
障害・遺族補償年金	4	6,821,075	
従事者災害補償費	0	0	
退職報償金	632	237,132,000	
合 計	654	249,246,690	

交通災害		(単位：円)	
種 別	人 数	金 額	
災害見舞金	346	32,460,000	

議員公務災害		(単位：円)	
種 別	人 数	金 額	
災害報償費	0	0	

議長全国大会に

「本四連絡道路の通行料金等」を要望

四国地区町村議会議長会会長会

第169回四国地区町村議会議長会会長会が、香川県当番により、8月27日高松市の「香川県自治会館」で、四国4県の会長及び事務局長が出席して開催された。

会議はまず、地元香川県の蓬会長及び四国地区会長の関本県会長があいさつを述べた後、規約の定めるところにより蓬香川県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

第54回四国地区町村議会議長会研修会 日程

と き 平成25年11月5日(火)
ところ 松前総合文化センター

12:30~13:00	受付
13:00~13:20	開会あいさつ 自治功労者表彰
13:20~14:50	講演 「安倍政権の課題と日本政治の行方(仮題)」 講師 政治アナリスト 伊藤 惇夫 (いとう あつお) 氏
14:50~15:00	休憩
15:00~16:30	講演 「働き盛りの健康法」 講師 トータルフィットネスインストラクター 西 本 真寿美 (にしもと ますみ) 氏
16:30~16:35	閉会あいさつ

「四国8の字ネットワーク」の早期整備及び本州四国連絡道路における
全国共通水準料金の確実な実現について

「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国の高速交通ネットワークを形成し、物流をはじめとする様々な経済活動や交流を促進し、地域の活性化に資する極めて重要かつ根幹的な社会資本である。

しかしながら、「国土ミッシングリンク」により高速交通ネットワークの機能が十分に活かされていない高速道路の未整備地域では、都市からの時間的遠隔性から、豊かな自然や多様な地域資源が活かされず、産業の不振、過疎化の進行など他地域との格差が拡大している。また、四国8の字ネットワークを形成する暫定2車線区間は、対面通行による重大事故や交通集中期における大渋滞の発生により、地域経済の発展や観光振興に大きな影響を及ぼしている。

今後、四国地方が地域の強みを生かし、地域連携によって自律的に発展するためには、四国地方の高速道路など高速交通ネットワークの早期整備が不可欠である。

特に、先の東日本大震災の復旧・復興においても、道路の重要性が再認識されたところであり、今後、南海トラフ大地震の発生も危惧されていることから、災害時の緊急輸送道路の早期確保に当たっては、経済性・効率性だけでなく、防災性向上の観点から事業評価を行い、早期整備が可能となる仕組みが必要である。

更に、本州四国連絡高速道路の機能・役割は、本州・九州等の高速道路と同一でありながら、正に「平成の関所」とも言うべき高額な料金が、観光振興はもとより農林水産物の流通や流通コストに敏感な「自動車組立工場」をはじめとした企業の誘致等、様々な分野において大きな障害となっており、四国の発展の大きな阻害要因となっている。

よって、国は下記の事項について早急に適切な措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 高速交通ネットワークの整備は、地域の活性化や生活利便性の向上、都市と地域の連携強化、さらには、南海地震等の災害時の緊急輸送道路の確保や救急患者の輸送時間の短縮などに大きく寄与する重要な事業であるため、経済性や効率性だけを優先することなく、地方の実情を踏まえて行うこと。

特に、緊急時に「命の道」となる四国8の字ネットワークの早期整備を図ること。

- 2 本州四国連絡高速道路の料金について、「第7回本四高速の料金等に関する調整会議」の協議を踏まえ、平成26年度から全国共通の料金水準を導入すること。
- 3 遅れている四国地方の国道、県道、市町村道等の整備については、住民にとって利便性が高く機能的で地域の実情に即した道路網として整備を促進すること。

また、危機的状況にある離島航路及び本州四国間のフェリー等の公共交通機関について、維持存続を図るため、十分な支援を行うとともに、地方バス路線等、地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たっては、住民の最低限必要な交通インフラを守るという観点から、地方の実態に即した補助要件の緩和や新たな補助区分の創設などの改善を図ること。

まず、会議録署名人に次期開催県の大西徳島県会長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

1 四国四県町村長・議長大会につ

田中高知県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案のとおり決定した。

2 第57回町村議会議長全国大会に提出する四国地区町村議会議長会の要望事項について

渡部愛媛県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案（別掲）のとおり決定した。

3 第54回四国地区町村議会議長会

研修会について

渡部愛媛県事務局長から25年度の研修会の開催概要及びその持ち方について説明があり、協議の結果、原案どおり開催することに決定した。

4 次期四国地区会長の開催について

次回は、26年3月27日に徳島県で開催することに決定した。

町からの お知らせ

久万高原町

第43回 久万林業まつり

もり
森林からの収穫

新たな需要に備えて

10月19日(土)・20日(日)

●メイン会場／久万公園おまつり広場

林業のまち久万高原を家族で楽しめるイベントです。

■木(こ)だわる

○林業総合資料展

○親子木工広場

○久万材パネルリングハウスの展示



親子木工広場の様子

■現地見学

○モデル住宅「久万高原の家」

(国道33号沿い久万中学校近く)

○宅地分譲地「ニュータウン久万高原」

(久万公園西側)

■秋の味覚で

こころもお腹も満腹

○もぎたてのリンゴやぶどう、しいたけ、高原野菜など旬の農産物が並びます。

○懐かしのおふくろの味や地元産品をいかした素朴な加工品も目玉の一つです。



秋の味覚をどうぞ

【お問い合わせ】

久万高原町役場森林林業課内
久万林業まつり実行委員会

☎0892(21)1111

●町立久万美術館2013年度企画展

「新井淳一の布―伝統と創生」

9月14日(土)～11月24日(日)

新井淳一(1932)は、自由な発想で先鋭的な「まだ見ぬ布」を次々と生み出してきた稀代のテキスタイル・プランナーです。

新井淳一は群馬県桐生市に生まれ、学生時代は文学や演劇に親しみ、高校卒業と同時に家業である織物業に従事します。天然素材を多用し、素材本来の性質を最大限に引き出した布、コンピュータを駆使して複雑な模様を描き出したジャカードの布、透明フィルムに金属を蒸着させた金銀糸で織った超軽量の布など。新井の既成の枠にとられない布づくりは常に見る者を驚かせてきました。

1970年代から1980年代には、三宅一生や川久保玲ら世界的なファッションデザイナーとの協働により、さらに制作の幅を広げています。2011年には英国王立芸術大学院より名誉博士号を授けられました。

本展では新井淳一の約60年にわたる布づくりを紹介します。一枚の布に込められたものづくりの想いを感じていただきながら、「布の空間」をご堪能ください。



【開館時間】 9:30～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】 月曜日と祝日の翌日

【観覧料】 一般 800(500)円、高大生500(400)円、小中生400(300)円

※()内は20名以上の団体、高齢(65歳以上)・身障・療育各手帳の提示の際の割引料金

【お問い合わせ】

町立久万美術館 ☎0892(21)2881

ホームページ <http://www.kumakogen.jp/culture/muse/>



8月15日に思う

8月15日は、終戦記念日である。先の大戦(第2次世界大戦)から68年経った。今や日本人の大方は、戦争を知らない。戦争の相手国さえ知らない。不可侵条約の一方的破棄があつた事。ましてや開戦の経緯など国内の歴史を知らない層が多いのではなからうか。焦土と化した国土、全ての人が衣・食・住に困窮した時代があつた事実を知らない事は、幸せかも…。

『後をしつかり頼む。子供を丈夫に育ててくれ。』(妻子への最後の言葉)、『明日の午後9時にホテルになつて帰ってくる。』(特攻の母「富屋食堂」の鳥浜トメさんに約束したとおり、ホテルになつて帰ってきた特攻隊員)。毎年8月15日は、家族の幸せと平和を願ひ二十歳に満たない多くの若者が散華した事。さらに沖縄、広島、長崎の悲惨さ、住宅各地への無差別空襲があつた事など決して忘れてはならない一日でもある。今夏季の局地的集中豪雨、「百葉箱」の測定温度が合点ならず違和感を覚える連日の猛暑は、簾と縁台と団扇、撒き水などの日本の夏風情を半世紀以上前に押しやる。

自然界に生きる人間とて、環境への順応が必要であらうけれども付いて行けない今日。そのためか、近年

は常識では計り知れない事件・出来事が多発しているような気がする。自然界の異常に感化されて、人間界も異常社会になつてしまつたのか。暑さ解消のため?、猛暑のため判断力の錯乱か?、個人の売名?なのか、コンビニ店舗の冷凍製品庫に入り横たわる店員、食べ物の上で寝転ぶ姿、ピザ生地を顔に被る若者などの画像をネットに流す行為が意味不明である。悪ふざけの内容が正常ではない事と理解出来ないところが怖い…。

若者には、アイスボックスに密着するような窮屈な想いをするより、まだまだ残暑厳しい時、初秋の鹿児島県へ自分旅を勧めたい。先端科学の内之浦宇宙空間観測所とともに、是非とも知覧町の「知覧特攻平和会館」を訪れてほしい。平和の礎となつた尊い命によつて、今の日本が引き継がれ存在する事を知るはず。さらにこれからの人生、自分自身をきつと取り戻せるであらう。

自分旅を終えれば、AKB48が、汗を流しながら懸命に踊るテレビ画面雑誌で笑いを振り撒く写真等もまた、違つた形(意味)で見えるようになるであらう。『若者よ!』平和を謳歌するなら68年前の同年齢の生き様を直視してから行動を、愚かさとの感謝が、同時に沸いてくるはず。少子化対策の前に、次世代を担う若者に事の善悪の判断が、自身で出来る事を強く望む8月15日である。

「人間にあつて良いものと言へば、若い感情と老いたる思想のみ」
(ジュウベール
フランスの道徳家)

8月の会と催し

- ▽1日〓平成25年度中国・四国ブロック過疎対策担当課長等会議及び現地視察(2日まで)
- ▽7日〓四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議、中央教育審議会教育制度分科会(第29回)、全国町村会「政府予算編成」要請活動
- ▽9日〓愛媛県市町総合事務組合会計監査、同組合議会定例会
- ▽12日〓愛媛県町村議会議長会平成25年度第1回定例会
- ▽15日〓愛媛県戦没者追悼式
- ▽19日〓平成25年度愛媛県町村監査委員協議会研修会、地方公務員災害補償基金愛媛県支部審査会
- ▽20日〓第56回愛媛県公立学校施設整備期成会定例評議員会
- ▽22日〓中央教育審議会教育制度分科会(第30回)
- ▽23日〓全国浄化槽推進市町村協議会平成25年度全国事務局長会議、愛南町議会議員研修会
- ▽27日〓第169回四国地区町村議会議長会会長会
- ▽28日〓中央教育審議会教育制度分科会(第31回)、久万高原町議会議員研修会
- ▽29日〓地方分権有識者会議

編集後記

今年も終戦の日がやってきました。あと2年で70年を迎えます。この間、時代に生きた人々は艱難辛苦に堪えながら、世界に類を見ない平和で豊かな国家を築き上げたのです。現代に生きる私たちは、この平安を次代に引継ぐ責務があると思います。

上の一筆にあるように先の大戦では、家族の幸せと平和を願ひ、多くの若者が特攻に散つたといひます。当時の人々の気持ちを窺い知ることにはできませんが、今の価値観で時代を裁くことは、み霊に失礼ではないでしょうか。

かくすれば かくなるものとなりながら やむにやまれぬ大和魂 吉田松陰の歌ですが、散華された方々の心を詠んでいるように思えてなりません。あらためてあの戦いに散つた、あまたの英霊に心から哀悼の誠を捧げます。

明日は防災の日です。今年の夏は異常な気象でした。猛暑の日照りから一転、これまで経験のない豪雨が降り、各地に甚大な被害がでました。また、近い将来「東南海・南海地震」が発生する確率が高いと言われ、どうなるのかと思つてしまひます。でも、僕を含め、なぜか人々は「自分のところだけは大丈夫」と思つているのではないのでしょうか。

「天災は忘れたころにやってくる」地震や大雨を防ぐことはできませんが、大切な命や財産を守り、被害を少なくするために何ができるのか、私たちは日頃から備えなければなりません。よし、今日は家族で話し合つてみよう。お酒を飲みながら。



秋の頂上へどうぞ。

サンキューオータム!!

9/20
金
発売!

オータムジャンボ宝くじ
1等・前後賞合わせて
3億9千万円

売り切れしだい発売終了!

2013年 新市町村振興宝くじ ●1等:3億3,000万円／前後賞各3,000万円
●発売期間9月20日(金)～10月11日(金) ●抽せん日 10月18日(金)

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

1枚300円



(公財) 愛媛県市町村振興協会